

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月31日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【純水タンク脇炉注水ポンプ用ディーゼル発電機の絶縁抵抗値低下について】 純水タンク脇炉注水ポンプ用ディーゼル発電機の定例点検において絶縁抵抗測定を実施したところ、社内で定める基準値を満たしていないことを確認。なお「電気設備の技術基準を定める省令」の絶縁抵抗値および製造元の絶縁抵抗値を満足していることから使用に問題ないと判断し、試運転を実施した。試運転結果は良好であった。今後、継続して監視をする。	GⅢ